寄居若者会議　プレミーティング

日　時：2021 年 6 月 10 日 20:00～21:30
場　所：オンライン
出席者：石田、清田、西田、野沢、加島、上田

1.若者会議の活動について

・メンバーが減ってきている中で、町内の他団体の活動に参画するのもありではないか。
理想は、若者会議が主体で取り組めることが良いが、人数が少ないと、発言したら責任を取らないといけない雰囲気になりがちで、そうなると、言いたいことが言えなくなる。
・遠方在住の方が増えているので、疎外感などがない進め方をしたい。
・遠方の方は、寄居のプロジェクトに物理的に関われないので、意見だけを言う場面が多くなるが、そうなると意見を言いづらくなる。
⇒長野や南三陸などのプロジェクトに対し、他のメンバーに意見を求めるのもありではないか。
・遠方の方は、プロジェクトに関わることも大事だが、それ以上に、寄居町で今どんなことが動いているのか、その情報を共有できることが大事なのではないか。つながりを切らないことが大切だと思う。
⇒清田君が作ってくれたプロジェクト一覧などを更新して、動きがわかるようにすると良い。
・誰が、何が好きで、どんなことが得意で、何をしたいのか、個々のパーソナリティをもっと知りたい。そうすると、プロジェクトに取り組むときに声をかけやすくなる。
⇒全員を対象に個別インタビューをして、それぞれが考えていることを事前に知っておくと良い。メンバーと近すぎない人がインタビュアーとして適任だと思う。木島さん（turiai）に依頼をしてみる。費用については、応相談。
⇒やりたくないこと、苦手なことを無理してやる必要はない。得意なことに取り組めるよう、パーソナリティの理解は大切なことだと思う。
・若者会議で稼ぐことは難しいが、誰かの会社の名前で、お金を稼ぐことは可能だと思う。
・活動するにあたっては、活動に割く時間や労力と、それで得られる対価（お金、達成感、成長、やりがい等）がバランスすることが大事だと思う。
・今年度の若者会議の予算は約 30 万円（正式にはまちづくり寄居と調整）。そのすべてを活動費に充てるので、その使い道をメンバーで話し合って決めると良い。
⇒YoriCo の保守なども、お金はかかっている。今は、清田君が自腹で対応してくれているが、皆の合意があれば、予算から費用を出すことも可能である。

2.定例会議のやり方

・月に1回の定例会は、続けていきたいが、そのやり方は、リアルやオンラインやハイブリットを

交えて検討する。平日夜や土日の日中など、複数の日程を挙げて、皆がいちばん集まれるときに開催することにしたい。
・平日夜にオンライン実施であれば、お酒を飲みながらでも良い。ゆるく意見交換をしながら、互いの関係性をつくっていけると良い。
・地域の人との接点を持てるとモチベーションも高まるので、定例会議のときに、地元の方をゲスト（２名程度）で呼べると、地域の状況なども理解できて良い。若者会議とコラボレーションできそうな団体の方に参加してもらい、活動のアピールなどをしてもらうと、より参画したくなると思う。

３. 若者会議の呼称について

・「寄居若者会議」という名称が、正式名称ではあるが、新しい参加者を増やすことを考えると、もっと、柔らかい呼称があっても良いのではないか。
⇒YoriCo ナイト？ など、次回、話し合ってみる。

４. 新規参加者の募集について

・寄居城北高校や近隣の大学生など、新規のメンバーを募っていけると良い。
⇒町から声掛けは難しいのが、成人式の実行委員会メンバーなどに声掛けすることは可能である。

５. 次回までのアクション

・6月下旬頃の定例会の日程調整を実施（上田）
・木島さんへのインタビューの打診と費用の相談（上田）
・次回定例会のゲスト（２名程度）のアサイン（上田）

文責：上田